

ピスガからの風 第26号

2010年9月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)
FAX.0748-74-3910
http://chiiroba.jp/

地域の人々との接点を増やす取り組み

館長 森 口 茂

「環境の変化に対応する」NOでなくCANで実行をスローガンに2010年度はスタートいたしました。意欲的に事業の幅と奥行きを持つための努力をそれぞれの事業所で行っております。ヘルパーは移送事業に乗り出そうと準備中です。ローカル地域は足の便の確保が大切です。病院、銀行などへの通いが便利になり顧客サービスに厚みが増すでしょう。ケアハウスは、地域の夏祭りに、わらびもちの「屋台」を出し、グループホームも、散歩を兼ねて通学路での「子供見守り」を行っています。このような取り組みを通して、地域の人々と顔が分かる関係になり、地域の人々との共生が図られることを期待しています。夏祭りも、職員の自発的な企画で運営され、入居者様、利用者様、職員、地域の人々が一体となって楽しむことができました。このようなインフォーマルな催しものを、やり遂げることからチーム力の醸成が進んでいくものと確信しています。福祉に携わる職員が喜びとプライドを持って仕事に励める職場づくりを、今後とも強力に進めてまいりたいと思っています。

人材育成への取り組み

近江ちいろば会では、職員の人材育成を目的とした研修を年間を通して実施しております。(表参照)今年度の法人内研修はテーマを決めて、そのテーマにそった講師を外部から招き、学びを深めています。また、業務改善活動や各委員会活動は、職員の中から担当を決め、自主的な活動にしていこうと取り組んでいます。研修や活動を通して、『役割をもつ』『考える』『目標達成に向けて取り組む』ということを身につけていきたいと思っています。外部研修にも積極的に参加し、更なるサービスの質の向上と安定したサービス提供を目指していきたいと考えております。

2010年度法人内研修委員会計画

研修名	法人全体研修	主任/所長研修 (大石先生)	業務改善活動 (大石先生)	委員会			館長と 話そう会	ほほえみネット 研修
				安全	感染	夏祭り		
担当	18:00～19:00	9:00～15:30	13:00～15:00	各所長	上里		16:00～	
4月	4/1 方針発表会		4/20 打合せ				4/9	
5月			5/18	5/12			5/14	介護技術 (口聴ケア)
6月	6/3 接遇マナー		6/15		6/9		6/4	2
7月			7/20			7/31	7/2	リスクマネジメント
8月	8/5 虐待防止・身体拘束について		8/17	8/11			8/6	
9月	9/2 顧客満足を考える	9/18・25	9/21		9/8		9/3	
10月		10/23・30	10/19				10/1	腰痛予防
11月	11/4 感染症について		11/16	11/10			11/5	
12月			12/21		12/8		12/3	
1月							1/7	アクティビティ レクリエーション
2月	2/10 認知症について		2/15 発表	2/10			2/4	
3月					3/10		3/4	認知症

ワーク・ライフ・バランス

平成22年度 働きやすい職場への取り組み発表!

昨年度に引き続き「職場風土改革促進事業実施事業主」として、以下のような取り組みを行っております。職員の皆様には制度を上手に利用しながら、充実した私生活とやりがいのある仕事とのバランスをとりつつ、安心して働き続けて頂ける職場となるよう、環境等の整備を推進して参ります。

- 管理職や職員に対してアンケート調査を実施し、職場風土改革・男性の育児参加についての課題を把握する
- 育児・介護休業の法改正について理解を深めるため、管理職層への研修会を実施
- 職員が相互にカバーできる業務分担の見直し、情報の共有化の仕組みづくりを行う
- 育児のために利用できる特別休暇を1日導入し、出産日前後1ヶ月に取得できるよう就業規則に追加を行う

＊花の日の訪問＊ 6月12日(土)

草津教会の教会学校の生徒たちが、お花を持って訪問してくれました。子供たちのかわいい歌声に元気をもらい、きれいなお花をプレゼントされ、80名ほどの入居者様・ご利用者様はご満悦でした。



厨房の改修と食事の提供

厨房の改装工事が行われ、シンクも大きくなり、冷蔵庫やウォーマーなど新しい機器も導入されました。目の前で調理員がよそってくれる料理に皆さんの視線は釘付け。適温提供(温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供)をより身近にすることで、入居者の皆様にも大変喜んでいただいています。今回導入したウォーマー、実は持ち運びが出来るのです。通常の食事はもちろん!パイキングやお楽しみ会などで大活躍してくれています。



基本理念:人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

100歳を迎えるにあたり

この度私は満百歳を迎えるに当たり何かの形を残すように言われ、戸惑いを感じつつ来し方行く末について、たわ事ながら書き留めておこうと思って、つたない筆を取ろうとしている所です。ピスガこうせいが開かれるとすぐ入所した人は私を含めて現在居を共にしているのはたった三人になりました。あれから十五年という月日が流れており、日の経つのは早いものだナーとしみじみ思い知らされております。私はけし粒程の信仰の持ち主であったため、この施設がキリスト教色彩のもとに成り立っていることを知りそれを目標として入所を願い、叶えられたという次第です。その時私はもう八十四歳という高齢になっておりました。あれから十六年という年を重ね自分ながら驚くべき百歳の大台に乗ってまいりました。世はなべて高齢化社会という事で百歳はさほど珍しくなくなって、しかし私にとりましては気の遠くなるような年月に思えてなりません。なぜこんなに長命なのかいぶかる時もままあります。特別頑丈に生まれついたわけでもなく、人並みに病気になるし入院も手術もして貰っているのに、なぜと反問しきりです。よくよく考えてみれば、この場所は珍しく環境の良好な場所だということ。空気はきれいだし周囲は緑の木々のとばり、またその上日本一大きな琵琶湖の水の豊かさ、何一つ取っていても最高の所に置かれているのに気がつく。他の人を見て元気で長生きの人が多い。たまたま町から友がたずねて来られ、ここの空気はおいしいとむさぼるように呼吸して帰られる様を見て、私たちは当たり前のごときとして感謝の気持ちを持たぬままに過ごしてある、この頃よく思う事の中で気がつかなかったという言葉似たような言葉で知らぬ間にやってしまったという言葉 せねばならぬ善はなさず、やってはならぬ悪は却ってする 我悩めるかなである。この様な道をたどりながら私も百歳まで到達してしまったのだと大いに反省しきりでありました。三度の食事も人まかせ、老人の身に合わせて薄味に、豊かならず、さりとして貧しからず傾合いの調理を季節も忘れず心配りをして頂き、これらの事を自分でいっさいしていたらと思うと、思い半ばに過ぎるものがあります。次にここで好きなのは入浴です。田舎の小さな温泉を思わすような毎日清潔に身を洗い心地よい事最高です。人は皆老いてい

ケアハウス入居者 堀江遠久子さん



く 花はしほみ木々は枯れるように、人も美しく老いるわけには参りません。されど美しくならなくてもおだやかな笑顔にはなれます。そのために神に愛され愛し人を許し許される生き方、愛すれば戦争はなくなり、許せばけんかはなくなり、人は一人では生きていくことは出来ません。オギャーと母の胎を出るとすぐ乳よおむつよと人の手を借りる 人手ばかりでなく物の手も借りねば一歩も歩めぬ人もある。そう考えると全ては感謝というべきでしょう。なのに人はアリガトウとしかく忘れてるのは不思議です。私は三階の住人で毎日階段の上り下りが伴います。私はエレベーターには乗らず上り下りに階段を用いています。人々はあの年でと言われますが、私は自分の力で上り下りしているのではなく、手すりという助けがあればこそのおかげです。愚作の川柳、「上り下り、手すりに助けを貰いつつ」。ドイツ人の詩人 ヘルマンホイペルスの詩を最後に述べさせてもらって閉じさせて頂きます。「この世の最上の技は何か、楽しい心で年を取り 働きたいけれど休み、しゃべりたいけれどだまり、失望しそうな時に希望し 従順に平静におのれの十字架を担い 若者が元氣一杯で神の道を歩むのを見てもねたまず、人のために働くより謙虚に人の世話になり、弱って早や人のために役立たずとも親切で柔和であること。老いの重荷は神の賜物 古びた心に これに最後の磨きをかける まことのふるさとに行くために。おのれとこの世をつなぐ鎖を少しずつ離してゆくのが 真にえらい仕事。こうして何にも出来なくなればそれを謙虚に承認するのだ。神は最後に一番良い仕事を残して下さる。それは祈りだ 手は何も出来ない けれど最後で合掌できる。愛する全ての人の上に神の恵みを求めるために。全てをなし終えたら臨終の床の上に神の声を聞かろう。きたれわが友よ 我汝を見捨てじ」

座右の銘として

いつも喜んでいなさい
常に祈りなさい
全てのこと感謝しなさい



明治43年9月18日生

近江ちいろば会の新しい理事・評議員・監事を紹介します。(平成22年7月より)

理事長 奈良 譽夫 理事 美藤 章 評議員 松山 克子 評議員 平野 正
理事 後宮 俊夫 理事 中田 匡美 評議員 影山 尚子 評議員 望月 修治
理事 森口 茂 理事 田中 義久 評議員 梶谷富貴子 評議員 大石孝太郎
理事 関 雅人 監事 武本 勉 評議員 原田 潔 評議員 中村香奈子
理事 藤原 忠昭 監事 明智 榮一 評議員 新 千重子 (順不同・敬称略)

中西 加代子 永野建築設計事務所	春名 康範 美藤 章 藤田 恭子 藤平 則夫 藤原 忠昭 細見 昌平 増井 武彦 松平 吉生・千鶴子	森口 貴子 森口 孝彦 森口 まつ江 森口 芳茂 森口保険事務所 矢崎 邦彦 安田 綾子 山崎 敬子 山田 喜久子 山田 陽子 和田 かほる	納涼祭 菩提寺学区 民生児童委員 三原 弘子 小川診療所 ササ薬局 福澤薬局 木下 幹敏 鈴木 一隆 奈良 譽夫 菩提寺北学区 民生児童委員 望月 実
野村 昌代 萩原 正夫 萩山 美代 八子 忠明・美代子 林 栄子	野村 昌代 萩原 正夫 萩山 美代 八子 忠明・美代子 林 栄子	南 俊子 宮本 由子 目戸 竜太郎 守岡 英子	寄附 野地 和子 明るい社会づくり運動 滋賀県協議会 湖南支部

事業内容

ケアハウス：ピスガこうせい／ほだいじデイサービスセンター／ほだいじホームヘルパーステーション／ほだいじ居宅介護支援センター／高齢者支援センターほだいじ／グループホームほだいじ／中央デイサービスしんあい

寄付金・後援会費 感謝報告

2010年4月22日
7月28日現在

後援会へのご加入をお願い申し上げます。ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(順不同・敬称略)

相浦 和生 浅野 直人 荒木 千博 家形 日出 池田 澄子 石田 しずゑ 伊勢戸 敏信 上柿 京子 上島 良彦 上田 圭子 植松 喜美子 宇田川 潔・恵津子 内海 初子 江坂 剛三・恵美子 大泉 静代 大西 千代子	奥村 展三 落合 輝夫 小野 隆司・薫 影山 尚子 勝目 紘 角 多平 加藤 一生 川上 昭子 川嶋 昭吾 川田 達生・礼子 木村 晶子 木村 稔 木村 量好 小久保 正 五味 由紀子 後宮 耕三・明子	後宮 周子 後宮 忠弘・サチ 齊藤 昭夫 佐伯 昌祥 佐賀 昭子 阪田 吾郎 佐藤 義彦 眞壁 史郎・泰子 杉江 スワ・節子 鈴木 真志 立石 勤 谷口 定 玉井 富士男 辻井 武志 内藤 弘子 中上 謙美子
--	--	---

発行日 2010年9月

発行責任者

理事長 奈良 譽夫
館長 森口 茂

振込
後援
口座
会費

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)